

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マーブルメイト（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 25日 ～ 令和 7年 2月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 25日 ～ 令和 7年 2月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者と意思疎通がとれる支援を心掛けている。	絵や写真、音などを使い、個々に合わせた対応をしている。	保護者との情報交換に力を入れ、本人の気持ちに寄り添えるよう支援していく。
2	利用者が安心して楽しく通所している。	利用者の状態を観察把握して、安全に安心して過ごせる様丁寧な支援をしている。	必要な支援が的確にできるよう、話し合いをしていく。
3	ヒヤリハットがあった場合、すぐに報告をし事業所内で共有している。	担当者が記録をし原因と対策をとるようにしている。	報告だけでなく、ミーティングを通して対策を話し合っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムが固定化してしまう。	年齢の違い、障がいの特性により、集団でのプログラムがむずかしい。	季節の行事の活動を考え、個々の支援が的確にできるようミーティングの機会を増やしていく。
2	室内はバリアフリーなのだが、玄関前の階段とは別にスロープの部分が途中なので整備したい。	現在は階段に手すりがあるので、職員が介助しながら不安がないようにしている。	車椅子対応ができるよう、早めにスロープの整備をしていく。
3	定期的に通信の発行がむずかしい。	ホームページはあるのだがデジタル化への対応が遅れている。	活動の内容や行事予定、その他の連絡等子どもや保護者にわかりやすくするための発信方法をより考えていきたい。